

【永久保存版】

モテファッション 7つのコツ

モテるファッションにはそれなりの理由があります。
モテないファッションにも理由があります。

しかしその理由が何なのか知らない人がほとんどです。

「何だそんなことか」と思ってしまったらその時点でその男はモテない男です。

女性に好印象を与えるためには、
最低限気を付けないといけない7つのコツがあります。

このレポートでは「何だそんなことか」と思われる内容が書かれていますが、
はたして「そんな事」を100%できているかどうか
もう一度見直してみてください。

著者 内藤ヒサ.の略歴

「10年彼女いない人のためのファッションスタイリスト」

内藤ヒサ.

32歳までファッションに無関心で女性から全く興味を持たれない
暗黒時代を送る。

32歳の時に好きになった女性に何度もデートに断られ、告白して
振られても諦めきれず、東京まで行き恋愛セミナーに参加、そこで
モテファッションスタイリストの師匠と出逢う。

藁にもすがる思いで全身コーディネートしてもらったところ、あま
りの女性の反応の違いに驚く！その後好きだった女性とデートする
ことに成功し、ファッションの大切さに気付く。

その後師匠からモテファッションを学び、2年の修行の後モテファ
ッションを極め、名古屋を中心にファッションセミナーを開催。

以前の自分のように恋愛に悩む人の助け舟となるべく、お客様のフ

アクションコーディネートも手掛け、恋愛・成婚へと導いている。



ファッション以外でもパーティーや占いお茶会、集客セミナーなどを主催し様々な分野で活躍中。

【過去の活動実績】

- ・ 婚活塾「ハッピーパートナープロジェクト」メンバー兼講師
- ・ 愛知県某主要都市の婚活応援サポーター兼講師
- ・ 素敵な彼女をつくるための「第一印象アップ講座」主催

- ・ 名古屋パーティーFFL(Friend for Life)代表としてディズニーパーティー、熊本県支援チャリティーパーティー、占いお茶会、集客術セミナーなど各種イベント主催

- ・ 永盛塾(起業塾)ブラッシュアップソート支部長 他

【マスコミ出演】

ラジオ：ヒロのベストスマイル

平成 28 年 8 月放送分出演



内藤ヒサ.です。

このレポートでは『モテファッション7つのコツ』
と題してレポートをまとめています。

最初にお伝えしておきますが、可愛いと思った女性が初対面でこちらに対して少しでも好印象を抱かなければその時点でその女性とデートまでいくハードルがかなり上がってしまいます。
悪印象を与えてしまったならなおさらです。

最初にハードルを下げておく事が、その後の恋愛の過程において楽になるという事になります。
もちろん、今まで悪印象を与えてしまっても、このレポートを読んでこれから変えていけば問題ありません。

そういった気付きがこのレポートのコンセプトです。
簡単な事ですが気付かない事。
しかし「気付き」は他人からリードを奪えます。

モテファッション7つのコツ

目次

1.肌着を見せるのはNG

2.季節に合わせて色を選ぶ

3.季節に合わせて素材を選ぶ

4.明るい色を取り入れる

5.スリムにみせるコツ

6.ガツシリ体形に見せるコツ

7.脚が長くきれいに見えるパンツ選びのコツ

1.肌着を見せるのは NG

男性にありがちなのですが、襟付きシャツやニットの胸元から**白い肌着**が見えてしまっていることがあります。これは女性目線で見ると完全に NG です。

若い女性で自分の肌着が見えていて気にしない人はまずいませんよね？

それが女性のスタンダードです。



さらに白い肌着は生活感の象徴、その人の清潔なイメージが崩れてしまいます。決して見せてはいけません。

ダサいし、子供っぽい印象を与えてしまいます。

またチェックシャツを着ていて胸元から白い肌着が見えていたらオタクっぽい印象を与えてしまいかねません。そうすると致命的。初対面で女性から切られてしまう可能性がとても高くなってしまいます。



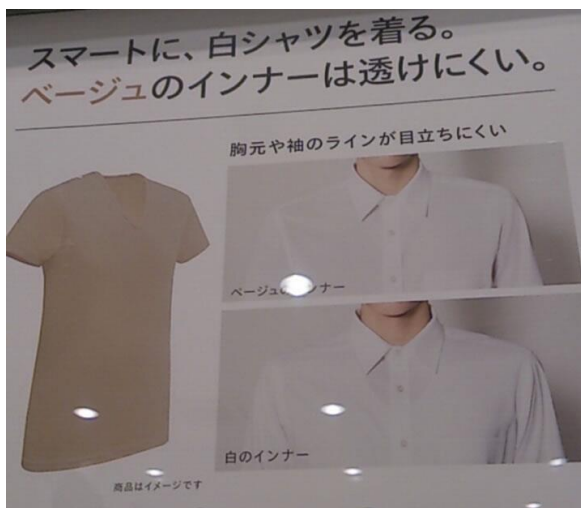
オタクがダメというわけではありません。オタクであるかは個人の自由ですし、個人的にはオタクは全く悪いことではないと思います。問題なのは『オタクっぽく』みえてしまうことです。世間一般でオタクというのはあまり良いイメージでないと思います。初対面で良くないイメージを与えてしまうことはうまくいくはずの出会いも無にしてしまいかねない非常にもったいない行為です。

気を付けましょう！！

胸元が大きく空いている服でどうしても肌着が見えてしまう場合は、肌の色に近く目立たない**ベージュの肌着**を着ましょう。肌の色と同化して目立たないので白の肌着が見えてしまうよりはダメージが少ないです。

ビジネスシーンでもドレスシャツの下に透けないようにベージュの肌着を着るのはマナーとして定着しつつあります。

あの超大手ファストファッションチェーンのユニクロさんも「スマートに白(ビジネス)シャツを着る、ベージュのインナーは透けにくい」という POP を店内に張り出しています。



ビジネスシーンでも白の肌着を着ていてドレスシャツ(ワイシャツ)
から透けて見えてしまうとあなたの清潔なイメージが崩れてしま
い、マイナスポイントとなりかねません。
気を付けましょう！！

2.季節に合わせて色を選ぶ

ファッションで季節感を出す方法をご存知ですか？

女性は男性よりも圧倒的に季節感に敏感です。

季節感が合っていないファッションはコーディネートにこだわっていても NG です。

どこかチグハグに見えてしまいます。

ではどうやって季節感を出せばよいのでしょうか？

一つは色です。

色は寒い時期は暖色系を使い、暑い時期は寒色系を使うのが基本です。暖色系とは赤やオレンジなど暖かそうに見える色のことです。



寒い時期に真っ青な服を着ている人がいたらどうでしょうか？

真っ青な服は氷をイメージさえ、見ている人まで寒くなってしまいます。

それよりは炎をイメージする赤系統の暖かそうな色の服を着ている人の方が季節に合っています。

反対に暑い時期に真っ赤な服を着ていたらどうでしょうか？

炎をイメージしてしまい、見ている人まで汗が出てきそうです。

それよりは青やサックス(水色)の涼し気な色の服を着ている方が季節に合った色使いといえます。

3.季節に合わせて素材を選ぶ

季節感を出す方法その2。

男性がつい無視しがちな**素材**です。

女性は男性が思っているよりも細かいところまで見ています。

服の素材も気を抜いてはいけません。

服を構成する代表的な素材といえばコットン(綿)、リネン(麻)、ウール(毛)と化学繊維のポリエステルです。

素材ごとにそれぞれ与える印象、適した季節が違います。

春夏は暑い季節ですので、程良く透け感があり涼しそうに見える素材を選ぶ必要性があります。それが**リネン(麻)**です。

リネンのジャケットや襟付きシャツは暖かい季節、春夏に合った素材です。



反対に秋冬のような寒い季節に着るべき素材は何でしょうか？

それは**ウール(毛)**です。

ウールは見た目も暖かそうですし、実際暖かいです。なので秋冬はウールの素材を使っていきましょう。



Pコートやチェスターコートによく使われているメルトンという生地もウールの一種です。ウールを圧縮して作られた生地です。



コットン(綿)や代表的な化学繊維であるポリエステルは基本的に一年中オッケーです。

ただ織り方が季節ごとに違ってきます。

細かく説明すると難しくなってしまうのですが、、、

ツルツとした織り方のものは春・夏向け、

毛羽だった織り方の暖かそうに見えるものは秋・冬向け、

と覚えていただければバッチリです！

4.明るい色を取り入れる

ファッションで失敗したくない、ダサい格好はしたくないという思いは多くの男性が持っています。

そして無難なファッションにしようと思った結果黒や暗いグレー、ブラウンといった一見無難に見えるモノトーン系の色を選んでしまい、結果全身暗い印象になる。よくありがちなパターンだと思います。

実際そういったダーク系コーディネート
の男性を街ではよく見かけます。

特に冬はそういった方が多いです。9割以上の男性は黒か暗いグレーの
コートを着て歩いているといっても過言ではないと思います。



女性は男性に比べて**明るい色、鮮やかな色**に反応します。

パーティー会場でも目を引く明るい色の服を着ている男性がいれば、それだけで女性から「この人オシャレ！」と注目を浴びることができます。



白や黒ばかりを使ったモノトーンのコーディネートも絶対ダメというわけではありませんが、適当に黒や白の服を選べばよいのではなく黒い色と白い色の占めるバランスが大事なので難易度が高いです。それよりも**明るい色、鮮やかな色**を入れたほうがはるかに簡単に女子受けするモテコーディネートを作れます。

5.スリムにみせるコツ

実際のスタイルと服を着た状態で見えるスタイルは大きく変わり、ファッション次第でコンプレックスとなっている体形を補うことができます。

太って見られると嫌、ガリガリに見られるのが嫌、足が太くて短いのがばれるのが嫌などコンプレックスは誰でもあると思いますが、ファッションの力を使えばそれを補うことは可能です。

これを**体形補正**といいます。

体形補正の手段はいくつもありますが服の柄は重要ポイントです。

スリムに見せるには柄はボーダー(横線)や無地よりも断然**ストライプ**です。縦に入った線に目が集中するのでその延長である顔もスリムに見えます。

ストライプの太さも重要です。太い線の入ったストライプよりも**細い線のストライプ**の方がより細くみえます。

細く見えるのは？



ストライプやボーダー以外でも柄でスリムに見せることができるポイントがあります。

それは柄の**大きさ**です。

大きな柄と小さな柄では小さな柄の方がスリムに見えます。

柄が大きいとその上にある顔も大きく見えてしまいます。スリムに見せたい場合は小さな柄を選びましょう。

痩せて見える柄



他にも視線を上の方に引き付けると細くみえます。

例えばストールやネックレスなどを付けている場合などです。

6.ガツシリ体形に見せるコツ

ガツシリ体形に見せたい場合はスリムに見せたい場合の逆です。

細い線よりも太い線、ストライプよりも**ボーダー**や**無地**の服を着る方がガツシリ体形に見せやすいです。

ただあまりにも太い線のボーダーは子供っぽく見えてしまうため注意が必要です。

ほどほどの太さにしましょう。

柄もスリムに見せる場合と逆で**大きな柄**の方がガツシリ体形に見えやすいです。

ガツシリ体形に見える柄



他にも**肩パット**の入ったジャケットやコートを着るとガツシリ体形に見せることができます。肩パットが入っているかは肩の部分を実際触ってみるとわかると思います。



7.脚が長くきれいに見えるパンツ選びのコツ

みなさんはパンツを買う時何を基準にサイズを選んでいますか？

まさかウエストや太腿にゆとりがあって楽かどうかを基準に選んで
いませんよね？

モテファッションを身に着きたいのであればパンツは足を長くきれ
いに見せるものを選びなくてははいけません。

これにはパンツの**サイズ**がとても重要です。



では何を基準にサイズをえらべば良いのでしょうか？

それは太ももです。

パンツを試着した段階で足を屈伸し馴染ませた後、**太もも**の部分がピタッとジャストフィットするサイズのものを選びましょう。

もう一つ**ふくらはぎ**もサイズ選びの重要ポイントです。

パンツのふくらはぎの部分をつまんで3センチ以上余っていなければオッケーです。

逆にそれ以上余っているとダボツと見えてしまい脚が長く、綺麗には見えません。



脚を長くきれいに見せたければウエストでなく**太腿**と**ふくらはぎ**を基準にパンツのサイズ選びをするようにしましょう。

最後に

先ほども伝えたように、この 7 つのコツはモテファッションを着るための基本中の基本です。

言い方を変えれば、この基本ができていればある程度どんな女性にも好印象を与えることができるステージに上がったという意味でもあります。

世の中の男性はこうした基本ができているようで、実はできてないという事が多いです。

街を歩いていて周りの男性をみるとわかると思います。

少し意識すればできる事ですので、まずはこのレポートに書いている事を実践してみてください。

そしてまだまだ『内藤式・モテファッションレクチャー』は続きますが、どんどんレベルの高いテクニックをお伝えしていくとともに、参加者の皆様の声にお応えしながらより良いセミナー・メルマガ・ブログにしていきます。

それでは続きは

『素敵な彼女をつくるための第一印象アップ講座』

『モテファッションメルマガ』

『ファッションスタイリスト 内藤ヒサ.

公式ブログ』

をご確認ください。



最後まで読んでいただきましてありがとうございました。

「10年彼女いない人のためのモテファッションスタイリスト」

内藤ヒサ.